

## 9/16 剣道指導での功績が認められ 田上實徳さん(両併一)



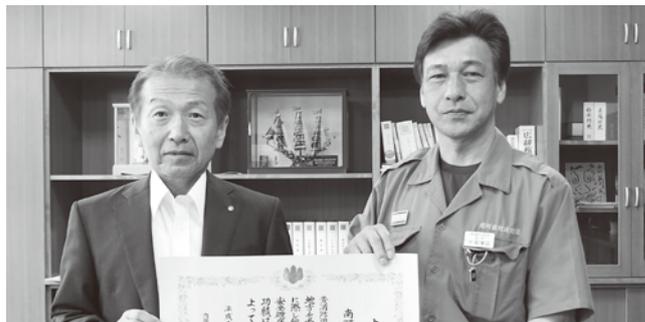
表彰状を手にする田上實徳さん

「第72回熊本県民体育祭人吉球磨大会」の総合開会式が人吉で開催され、田上實徳さん(両併一)が、「平成29年度熊本県体育協会スポーツ功労者表彰」を受けられました。

田上さんは長年、地元小学生に剣道の指導を通して児童の健全育成に尽力される傍ら、南阿蘇剣友会会長として村内外の活動に積極的に取り組み、区長としても地域に尽力されていることなどが認められての表彰となりました。

田上さんは「今まで支えていただいた多くの皆さまのおかげで、受賞させていただきました。今後も微力ではありますが、何か地域に恩返しできればと思います」と述べられました。

## 9/11 地域住民保護に多大な貢献 防災功労者内閣総理大臣表彰(村消防団)



表彰の報告に訪れた中尾団長(右)と吉良村長

日頃から防災思想の普及または防災体制の整備に尽力、災害時における防災活動に顕著な功績があった個人や団体を表彰する「防災功労者内閣総理大臣表彰 表彰式」が9月8日に東京都で開催され、熊本地震関連で、本村消防団を含む16の消防団が表彰されました。

本村消防団は、4月16日～7月5日間で延べ4,540人が出動。救助活動や避難誘導、地震後の大雨による土砂災害で長期にわたり立野地区が孤立した際、住民の一時帰宅実施時に誘導や土砂災害箇所の警備などの支援を行ったことなどの功績に対し表彰され、中尾団長が吉良村長への報告に役場を訪れました。

## 9/29 村の振興を後押し 中小企業支援に関する基本協定調印式



協定書を締結した吉良村長と真崎会長(右)

中小企業の支援、育成にかかる施策を相互に連携し、実施することで村の振興に資することを目的に、本村と県信用保証協会による「中小企業支援に関する基本協定調印式」が、役場大会議室で、同協会のほか、吉良村長や村関係者などが出席して行われました。

締結された協定内容は、創業者が金融機関などから借り受けた資金の保証料を村が補給することなど全5項目。

調印後、同協会の真崎伸一会長が「今、日本全国でも廃業率が創業率を上回っている。阿蘇地域においても同じ状況であると思う。新たな創業のみならず、創業と廃業との事業所系のマッチングにも力を入れていきたい」とあいさつされました。

## 9/23 元気いっぱい頑張りました 村内3保育所運動会



黄組園児たちのダンス「ハッピーくまモン」

9月16日～30日にかけて、村内3保育所(白水・久木野・ちょうよう)で運動会が開催されました。

9月23日に開催されたちょうよう保育園の運動会では、保護者などが見守る中、クラスに分かれて園児たちが元気よく入場。草地一誠君と古庄堇さんが「最後までゆっくりご覧ください」と始まりの言葉を述べました。

競技が始まると、0歳児から年長児までダンスや徒走、技巧走など数々の種目を披露しました。

黄組園児によるダンス「ハッピーくまモン」では、くまモンのお面をつけた可愛い演技に会場からは温かい拍手が送られていました。

### 10/1 | 2年ぶりの開催 第12回南阿蘇村福祉運動会



白水保育所の園児と真剣勝負「ジャンケンポン」

「第12回南阿蘇村福祉運動会」が、南阿蘇中学校体育館で開催され、773人(60歳以上)の選手たちがさわやかな汗を流しました。熊本地震の影響により、開催は2年ぶり。

上村政義さん・美智子さんご夫婦(立野)が代表で選手宣誓を行い競技がスタートしました。

競技は、大きなボールを転がしてつなぐ「ボールリレー」、白水保育所の園児たち(28人)を相手に「ジャンケンポン」など全7競技が行われました。

昼食の時間には、同保育所によるダンスや組体操が披露され温かい拍手が送られました。

終わりに、旧村ごとの最高齢参加者(3人)の表彰も行われました。

### 10/7~15 | 秋の花と自然を楽しむ 第9回南阿蘇・庭・めぐり



可愛らしく白い花を咲かせる「秋明菊」

個人の庭に咲く秋の花々を楽しんでもらう「第9回南阿蘇・庭・めぐり秋」が本村の2カ所(ナチュラルガーデン南阿蘇、癒しのガーデンsubrosa)で開催され、多くの人が訪れました。

オープニングイベントとして7日、「ナチュラルガーデン南阿蘇(久石地区)」で、ガーデンコンサートも開催。同ガーデンでは、サラシナショウマやサルビア、秋明菊など数百種類もの色とりどりの花が来場者を迎え、平日も南阿蘇の自然と共に楽しもうと来場者が訪れ、解放された庭を楽しんでいました。

### 10/1~14 | 村全体が芸術の秋に 南阿蘇村2017谷人たちの美術館



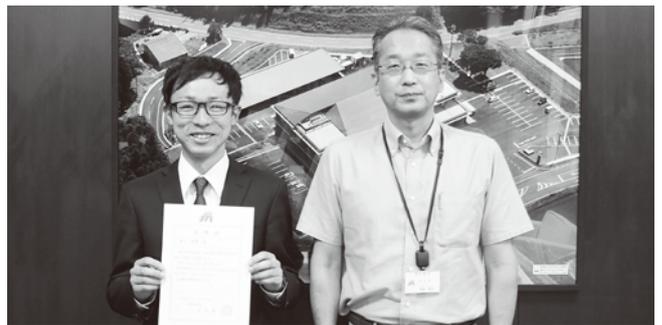
訪れた人たちを引き付けた人形たち

村全体を美術館に見立てた「南阿蘇村2017谷人たちの美術館」(同実行委員会主催)が開催され、村内外から多くの人々が訪れました。

美術館は、作家の自宅やギャラリーなど村内37カ所が解放。絵画や木工、陶芸、草木染などの作品展示や体験講座も行われました。

河陰地区で粘土を使った創作人形を展示する小辻真理子さん(第八駐在)の「南阿蘇村 ゲストハウス 野わけ」では、全て手作りされた球体関節の人形14体が展示。訪れた人たちは、小辻さんに製作期間や、人形が身に付けている衣装について質問し、会話が弾んでいました。

### 10/2 | お世話になった南阿蘇のために 糸川勇樹さん



野崎副村長から委嘱状を受け取った糸川さん(左)

河原加寿美さん(第4駐在)に引き続き、「地域おこし協力隊」として、栃木県出身の糸川雄樹さん(黒川)への委嘱状交付が役場村長室で行われ、村長代理で野崎副村長から委嘱状が手渡されました。

糸川さんは、昨年東海大学阿蘇キャンパス農学部を卒業。在学中に過ごした本村への恩返しをしたいとの思いで今回、同協力隊へ応募されました。

糸川 勇樹(くめかわ ゆうき)さん

- 出身：栃木県
- 趣味、特技：釣り、ヒッチハイク、写真